

岡山市区づくり推進事業助成申込書



(地域活動部門)

令和 7 年 1 月 20 日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ ヒラジマケンコウフクシイインカイ
 団体名 平島健康福祉委員会 (HKF)
 所在地
 連絡先
 フリガナ
 代表者

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
 ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ☒ ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	平島・元気で輝き事業
事業実施小学校区・地区	平島小学校区
事業実施回数	新規 ・ ☒ 継続 10 回目 / 【平成 28 年度から】
課題	① 少子高齢化を見据え、事業の継続及び会員ネットワークづくりの強化 ② 地域に住む老若男女が、ゆるくつながりながらも、顔の見える関係づくりを図ること ③ 近隣地域との交流により中学校区での支え合い活動（特に災害時を意識して）を推進していくこと

事業の目的	平島学区において今後更に進むことが予想される少子高齢社会に向け、高齢者が元気で社会参加ができ、自立した生活を送ることができるよう、また老若男女が一緒になって自助・互助の考え方を理念に、地域で支え合う仕組み作りを構築していくこと ・ 平島学区に住む高齢者などの健康と福祉に寄与すること ・ 多世代が交流することで将来に向け地域全体で支え合うまちづくりを構築していくこと ・ 近隣地域との定期的な交流により多様な形のネットワークづくりを図ること
事業の内容	① 高齢者などが困ったときにお手伝いができる“生活支援サービス”の実施 ② 高齢者が歩いて行ける所で交流ができる“井戸端カフェ”の開催 ③ 高齢者の健康づくりや多世代が交流できる“三世代交流ふれあいサタデー”や“介護予防教室”“研修会”などの企画開催 ④ イベントや健康福祉に関する情報共有のため“HKFニュース”の発行
期待される成果・目標	・ 本事業の推進により“支え合いのまちづくり”の実現 ・ 多世代のふれあいによりコミュニティの輪が更に拡大すること ・ 一人でも多くの高齢者が元気で輝きながら、地域とつながり社会参加や活動が出来ること ・ 支え合い活動の「自助・互助の理念」を地域に浸透させることができ、特に災害発生時においても連携して活動ができやすい環境をつくること ・ 近隣地域との定期的な交流により、支え合い活動の輪を広げること

企画などの工夫	・高齢者同士がゆるくつながりながら支え合いができるための環境づくり →特に東南海沖地震発生前と後を意識した行動について ・三世代交流ふれあいサタデイのプログラム内容の検討 →小学生が楽しめるような遊びやゲームの導入 →中学生が高校生と一緒に活動ができるやすい単発型のワークショップなど
協働する団体等	・基本的には平島安全安心ネットワークに所属する各団体（24 団体）及び上道公民館と協働しながら活動を継続 ・ケースバイケースで上道公民館や瀬戸公民館、瀬戸・上道ケアマネ情報交換会など近隣地域の各種団体とも連携しながらできる活動を企画実施（特に災害を想定した内容のもので、避難や被災後の協力できることなど）
事業の情報公開	・平島学区においては連合町内会 HP への掲載、HKF ニュース、チラシの全戸配布 ・山陽新聞や oni ビジョン、つながる協働広場や市民の広場への投稿 ・各町内会、地域センターや公民館への情報発信やポスター掲示 ・SNS の活用による情報発信
学区地区への広がり	・平島安全安心ネットワーク所属団体への HKF としての今後の計画及び方針の共有化を図り、支援して欲しいことはしっかり要請する ・上道中学校の生徒さんが“三世代交流ふれあいサタデイ”への参加しやすい仕掛けづくりの工夫 →“上中カルタ作り”の成功例から「上中ちょいチャレタイム」への新提案！
前年度からの見直し拡充点	<見直し点> ・HKF の運営システムおよび活動内容に改善・・・現メンバーが少しでも長続きでき“ゆったり”と“まったり”と活動しても OK”と受け入れられるように、提供できるサービス内容の再検討を行いながら、少しずつ住民に啓蒙を図ること。 ・“何でもあり企画大作戦”により「ふれあいサタデイ元気で輝き体操/井戸端カフェ」の参加者増を目指す・・・2 か所の開設地区の周り 300m 圏内の住民にチラシによる啓蒙を頻回に図る（参加ルールを大幅に緩めてだれでも参加しやすいように改善する）

次 年 度 以 降 の 予 定	① 次年度以後の活動計画 基本的には今のシステムで進めて行く予定だが、担い手の高齢化や後継者がなかなか見つかりにくい状況下では、サービス提供内容を大幅に変更せざるを得ない時が来ることも考えられる。 ②資金の確保について ☐次年度も区づくり推進事業を申請する予定
そ の 他 P R し た い 点	多世代が交流することで将来に向け、地域全体で支え合うまちづくりの雰囲気づくりとして「三世代交流ふれあいサタデイ」が少しでも役割を果たせるよう頑張っていきたい。年に2回の開催ですが、どうぞご興味のある方は見学においで下さい。

事業スケジュール

令和7年度活動計画

- ★小地域ケア会議の開催 4/25（金）、7/25（金）、10/24（金）、1/23（金）
- ★介護予防教室“ふれあいサタデイ・元気で輝き体操”は毎週土曜日午前中にコミュニティハウスで開催
- ★“三世代交流ふれあいサタデイの開催”7/19（土）、1/17（土）
- ★“HKF 研修会”は6月「ゆるくつながり支え合う」9月「認知症」12月「介護予防教室」3月「ACP」開催予定
- ★“生活支援サービス”および“井戸端カフェ”は今まで通り実施
- ★HKF ニュース発刊6月、12月予定
- ★平島地区あっ晴れ体操交流会6月、上道学区「ゆるくつながろう交流会」11月
- ★地域のイベント支援(コミュニティ祭り4/29、安全安心ネットワーク祭7月、敬老会9/15、振興まつり11/2)

収 支 予 算 書

収 入

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内 容
岡山市補助金	152,000	162,000	
実施団体負担金	42,000	42,000	会費
参加者負担金	35,000	40,000	サービスチケット、カフェ参加費など
協賛金	50,000	50,000	振興事業推進協議会、社協
寄附金、他収入	25,000	30,000	地域企業
収入合計	304,000	324,000	

支 出

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	35,000	35,000	コピー用紙、紙コップなど
②食糧費	50,000	50,000	お茶など
③印刷製本費	10,000	10,000	印刷など
④燃料費	0	0	
⑤光熱水費	0	0	
⑥通信運搬費	40,000	40,000	携帯電話、切手など
⑦広告料	0	0	
⑧手数料	0	0	
⑨使用料・賃借料	45,000	45,000	コミュニティハウス利用料など
⑩原材料費	0	0	
⑪委託料	0	0	
⑫工事請負費	0	0	
⑬報償費	15,000	15,000	講師謝礼
⑭保険料	10,000	10,000	会員および行事参加者など
⑮旅費	99,000	119,000	研修時交通費
支出合計	304,000	324,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	希望する ・ 希望しない
----------------	--------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

手持ち資金が少ないため

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。